



のぞみ

Vol. 35

令和5年10月23日発行

発行

社会福祉法人 同仁会 TEL.(0863)71-0110
 障害者支援施設 のぞみ園
 共同生活事業所 のぞみホーム TEL.(0863)71-0110
 相談支援事業所 のぞみ TEL.(0863)71-0110
 生活介護事業所 グレイス TEL.(0863)71-0188
 地域活動支援センター こだま TEL.(0863)73-5018
 地域密着型特別養護老人ホーム 笑福亭 TEL.(086)277-6300
 就労継続支援A型事業所 ホープオブライフ TEL.(0863)73-5052
 放課後等デイサービス事業所 こだまクラブ TEL.(0863)33-3717
 就労継続支援B型事業所 フクちゃんのパン屋さん TEL.(0863)23-4780

就労継続支援B型事業所 エスポアール・セルブ
 TEL.(086)284-8004
 生活介護事業所 エスポアール・スター
 TEL.(086)284-8090
 相談支援事業所 相談支援事業所エスポアール
 TEL.(086)284-9002
 生活介護事業所 エスポアール・クワノ
 TEL.(086)274-6677
 救護施設 たましま寮
 TEL.(086)522-2230

同仁会 事業所の活動紹介

ごあいさつ

同仁会理事長 山岡 宏行



令和5年6月の理事会で、遠迫美由紀理事長の後任として、理事長の大役を仰せつかりました山岡宏行です。前理事長同様よろしくお願いいたします。

同仁会の各種事業の中で「のぞみ園」が、障害のある人にとって県南の優れた中核事業所であることはご存知の通りです。スタッフの皆様、ならびにご家族様、さらには事業に理解がある地元の皆様の絶大なご支援のおかげだと心から深く感謝申し上げます。さて、小生の「のぞみ園」との関わりを一言。昭和58年頃から障害のある子と生計を共にしている親亡き後の悩みを解決したいとの玉野市手をつなぐ親の会の切望として、「わが子が入居し、自立を目指し職業訓練もできる施設ができれば」を活動方針と決定。先ず建設資金集めでは、小豆島の素麺等の販売、会員有志の寄付金集めのお願い等々、頑張っても建設資金には、ほど遠い金額でしたが、会の関係者が一番燃えた時でもありました。更に、施設建設場所探しでは荘内地区の山歩き等で、足腰が鍛えられました。紆余曲折はありましたが、初代、遠迫理事長、松岡園長や親の会員はじめ現「のぞみ園」園長の濱川理事等多くの人的ご尽力による入所施設の誕生でした。同仁会は隣人愛・共同・自立の3つの精神と、基本的人権・共同と連帯・自立の3つの理念のもと、ニーズに応える体制づくりを推進して参りました。

親が望んで立ち上げた若年者の入所施設「のぞみ園」でしたが30余年経った現在、「のぞみ園」の立ち上げ当時若かった昭和生まれの大半の親が充実した高齢者福祉施設への入所を考える年になってきた今日ですが、ただ流されることなく健全な福祉施設完成のために、同仁会発展のため、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ着任の挨拶とさせていただきます。

相談支援事業所 のぞみ

相談支援事業所のぞみは、計画相談として施設入所の利用者、地域で暮らす利用者の方へ福祉サービス事業所の紹介や利用状況の確認を行っております。また委託相談として、地域の方や市外転入の方の相談などを受けたり、玉野市障害者総合支援協議会の事務局など行っております。地域での研修、専門職研修のお手伝いや学生を対象とした懇談会なども参加しており、地域で暮らしていく利用者の困り感をより身近に感じていく事が出来る事業所となっております。相談支援専門員内で抽出された地域課題を玉野市障害者総合支援協議会に提出し、協議しています。高齢化や地域福祉の担い手の不足など課題が多くありますが、継続的に協議していきたいと思っております。

生活介護事業所 グレイス

11月下旬、ご利用者と職員で浦安総合公園へ1日外出に行きました。久しぶりの外出と言うこともあり、数日前からウキウキした様子が見られました。当日は昼食やおやつをスーパーで購入し、公園内では、お弁当を食べたり、散策したりとあっという間の1日を過ごしました。少し寒い時期ではありましたが、楽しそうな姿や満面の笑みを見ることができ、思い出に残る1日となりました。今後もご利用者の皆様に喜んでいただける活動を提供していけたらと思っております。



障害者支援施設 のぞみ園



運動会



玉野光南高校演奏会



社会見学

のぞみ園では、昨年新型コロナウイルスの猛威に遭い、クラスターを経験しました。職員の多くが感染してしまい、収束まで約1か月程度かかり、利用者の方には大変な思いをさせてしまい申し訳なく思います。しかしながら流行の合間に今まで自粛していた県外への外出の機会を社会見学として提供することができ、利用者の皆さんが、大変楽しめている様子うかがえ、私たちが少し救われたと思うことができました。

令和5年5月より5類に移行しましたが、決して油断できない状況の中、付き合い方を工夫し、利用者と共に楽しく生活できる支援を考えていきたいと思っております。

農福連携事業の紹介

農業と福祉活動を結びつける農福連携事業として、ナス・桃の選果、玉ねぎ・白菜の収穫作業、ニンニクの栽培・加工等に取り組みことができました。



就労継続支援B型事業所 フクちゃんのパン屋さん



フクちゃんのパン屋さんでは、一般雇用が困難な障害のある方に、就労の機会を提供し、充実し自立した社会生活を送れるよう支援をしています。

そのための作業メニューとして、パン・菓子製造、店舗接客、珍味袋詰め・計量、施設外就労先での箱の組み立て等に取り組みました。特性毎に作業配置を行い、生きがいを持って取り組み毎日頑張りたいなあと思える環境づくりを行って来ました。

自治会の「コアラ会」では、土曜開所日の内容について意見を出し合い活動に生かしています。コロナ感染症の状況を見ながら新しい取り組みも考えていきたいと思っております。

今後も利用者の皆さんが満足できるような支援を行い、自立に向け必要なサポートを職員一同実践していきたいと思っております。

※令和5年7月1日現在在籍者23名(玉野市19名、倉敷市4名、内グループホーム利用者5名)の比較的若い利用者が多く在籍し活気あふれる事業所です。



地域密着型特別養護老人ホーム 笑福亭



令和4年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止のため、夏祭りなどイベントの中止など、地域の皆様とかかわる機会がないまま年度を終わってしまいました。令和4年7月末にショートステイ利用者が新型コロナウイルスに感染し、4名の方が施設内療養する事になり、介護等にあたっていた職員も5名感染してしまいました。この影響で、ショートステイの利用が前年度に比べ著しく減少してしまいました。特養の方への感染がなく、29名の入所者の生命が守れたことが不幸中の幸いでした。コロナ禍の中でも、感染に注意して9月下旬から10月初旬にかけてコスモスの花を見に外出しました。3月には河津桜の花見に出かけ、ご家族が面会に来られた際に写真をお渡しし大変好評でした。また、行事活動も再開して、7月1日の笑福亭開設10周年行事

として、入所者と職員でフルーチェ作りをしてお祝いしました。12月23日には、クリスマス会を開催しました。今回は外部から岡山県立大学教授の竹本先生がボランティアでフルート演奏に来て下さり、職員もかくし芸の披露をしました。感動とお笑いの入り混じった楽しい時間が過ごせました。令和5年度の笑福亭では、個別機能訓練に力を入れています。関節可動域訓練や筋力強化訓練等の入所者個人の特徴に合わせた訓練の他に、全体体操として、特養は昼食前、ショートステイはおやつ前の時間に理学療法士、看護師、介護職員で歌や体操を行っています。また、グリーンカーテン作りで、朝顔、キュウリ、ゴーヤ、トマトを植えており、最近では収穫したキュウリを入所者で浅漬けにして食べています。今後も、楽しく生活を送れるように職員一同努力して行きます。ご家族、ご友人で介護の必要な方がおられましたら、気軽にご相談下さい。



クリスマス会でのフルート演奏

放課後等デイサービス こだまクラブ



合わせた取り組みでも成果がありました。

なおタイムケアのニーズのある方にはワンストップで利用できるよう調整しご家族の便宜を図り人数も増えてきました。これからも子ども達のやりたい!できた!楽しい!を大切にサービス向上に努めたいと思います。

こだまクラブでは、異年齢による集団療育を軸に音楽・造形などの活動の他に季節の行事や体験活動も積極的に行い好評いただいています。中でも梶谷基金を受け初めての田植え体験も含め米作りや野菜を育て子どもが収穫して食べることを通して食育、伝統行事や文化にふれる機会になりました。竹を活用した野外炊飯にも挑戦して充実した取り組みができました。[今年も楽しんで田植えをしました。]

また、造形では作品が入賞するなど個別の課題に

きらぼしアート入賞作品



共同生活事業所 のぞみホーム



のぞみホームの居住棟は玉野市内に4か所あり、現在17名の利用者が生活支援員や世話人のサポートを受けながら生活を営んでいます。引き続き新型コロナウイルス感染症の予防に気を付けつつ、少しずつ外出の機会を設けていくことができるようになりました。利用者の方も週末が近づくと『ここへ行きたい』『あそこへ行きたい』と要望し、出かけた後の表情やその後の過ごしている様子を見ると、やはり外へ出かけ社会に触れることは大きな意味があるのだと感じています。今後も屋内活動、屋外活動ともに充実していきながらサービスのさらなる向上を目指していきたいと思います。



地域活動支援センター こだま

地域活動支援センターこだまでは、昨年からは新しい利用者が2名加わり、毎日賑やかに活動しています。月曜から金曜日は生産活動体験訓練をしています。みなさん張り切ってシール貼りと箸入れの作業に取り組んでいます。土、日、祝日は余暇活動として、社会体験や運動・クッキング・製作活動を行っています。新型コロナウイルスの影響もほぼ無くなり、以前のように様々な活動を提供出来ればと思っています。

相談支援事業所 エスポアール

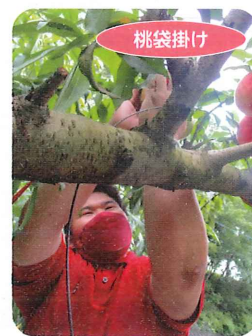
令和4年度は、基幹相談支援センターや、地域定着支援センターの方々から、触法関係のケース依頼が多くあり、対応させていただきました。触法ケースに関しましては、携わる関係機関が比較的多くなる傾向があるため、支援方針がブレないよう、逐一情報共有を行ってまいりました。地域定着支援センターとの接点が増えたことから、今年度におきましても触法関係のケース依頼が来ておりますので、順次対応させていただきます。

就労継続支援B型事業所 エスポアール・セルブ

エスポアール・セルブは岡山市北区一宮地区にある就労継続支援B型作業所です。現在は主に点字ブロック作成などに取り組んでいる19名と、主に軽作業などに取り組んでいる13名で現在32名の利用者が元気に通所し作業や活動に取り組んでおります。施設外作業の依頼等もあり、近隣の桃畑での桃の袋掛け作業や、選果場での桃の荷受け作業など、農福連携事業にも取り組みました。農家の方のご厚意で収穫体験もさせて頂き、皆さん大喜びでした。

令和5年7月30日に北ふれあい祭りが開催されました。コロナ禍で中止が続いておりましたが約4年ぶりに規模を縮小し開催いたしました。エスポアールでは家族会と協力し雑貨販売、手作品や野菜の販売など行いました。大変盛況で楽しく過ごせました。

館内でのイベント、高校生によるチャリーディング、大学生の落語や福祉の店などがあり多くの年代の方と触れ合うことが出来ました。利用者さんは、各イベントを見学したり、体験コーナーで高齢者体験や海外の新しい屋内で出来るスポーツやゲームなどに参加し、楽しく過ごせました。



生活介護事業所 エスポアール・スター



キャンドル作り



タコめし堪能中!

コロナ禍ではありましたが、感染予防に気を付けながら社会見学に行きました。1・4グループ(生産班)は、10月に倉敷方面でカニ料理を堪能しました。その後美観地区を散策し、また工房でキャンドル作りを体験しました。第5グループ(療育班)は、12月に鷺羽山レストハウスで美しい瀬戸内の景色とおいしい食事や買い物を楽しみました。

その後、渋川マリン水族館で楽しい時間を過ごしました。お天気にも恵まれ、一日で山と海・地元の海の幸を満喫しました♡

8月には、二つのグループが合同で、エスポで育てた野菜をスタンプにして作品を作りました。「動物を描こう」というテーマで合作し、「第6回きらぼし★アート展」に応募したところ、入選。サンワーク総社やきらぼしアートセンターに展示されました。健康に気をつけて、日々の作業や活動も頑張っています。



オクラでぺたぺた



きらぼしアート展に行ったよ



入選作品「ようこそサファリパークへ」

生活介護事業所 エスポアール・クワノ



お花を見ながらおさんぽ♪

生活介護事業所「エスポアール・クワノ」は、利用者23名で明るく・楽しく元気いっぱい活動しています。

日中の活動は、午前中、個別活動やグループの活動及び療育・作業的の活動。おいしい給食のあとは、療育活動(音楽・ダンス・創作活動等)を行っています。

日々の活動や季節ごとの催し物、そして人と人とのつながりを通して、毎日の生活がより充実したものになるよう取り組んでいます。

春のへきはお花がいっぱい
えの具・がようし・お花紙・ビニール袋
いろんな素材で創作☆



月末のお楽しみ
カレンダーの創作活動
すてきなカレンダーを
つくるぞ〜☆

救護施設 たましま寮

年間を通じて、たましま寮ではさまざまな行事・活動を行っています。春はお花見、夏は爽やかレクリエーション、七夕、かき氷、秋は合同発表会で銭太鼓・お花・書道・エアロビクスの発表・展示、冬はクリスマス会・節分など寮内で出来る事を楽しんで行っています。

個々で作品作りをしたり、今年度は、地元の洋品店協力の元、訪問販売を行い、コロナ禍で外出できない利用者の方が、自分で洋服を選んで買い物する楽しさを味わってもらえるようにしています。少しでも充実した生活が送れるように取り組んで参ります。



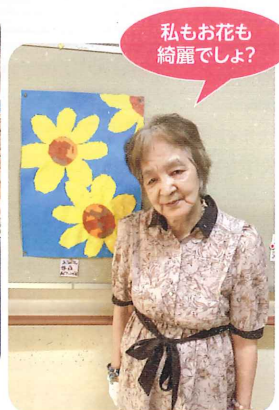
爽やかレクリエーションで
パン食い競争したよ!
美味しかった〜♡



みんなの願いが
叶いますように…☆



遊びに来たワン!



私もお花も
綺麗でしょ?

『サーカスを園内にて行いました』



のぞみ園では、4年に一度やってくるサーカス観覧を楽しみにしていました。今回の岡山での公演も行く準備を行っていましたが、7月に入り新型コロナの感染者がだんだんと増えていき参加を見合わせることになりました。楽しみにしていた利用者のために園内にてサーカスを行うことを決め、職員がライオンやピエロになって猛獣ショーやバイクに乗ってサーカスの雰囲気を感じてもらいました。

奇跡の猛獣ショー!



本家サーカスのように
バイクも走る!!



編集後記

コロナ禍とともに創意工夫しながら活動を行ってきましたが、少しずつですが外出できる機会も増え、5月には2類から5類に変わったことでやっとコロナ禍前の活動へ戻りつつあります。

35号ではコロナ禍ではなかなか撮影できなかったマスクを外しての外出時の集合写真など、利用者の笑顔とともに掲載しておりますのでご覧いただければと思っております。

担当者一同